静岡 ユースサッカー
THE YOUTH SOCCER

2月1日木曜日
昭和54年（1979年）

昭和49年5月1日第三種郵便物認可

発行所
静岡県清水市サッカー協会
発行人　堀田　哲爾
編集人　清水市七ッ新屋 291 サッカーニュース社 二本木一夫
清水市真砂町1－12
編集専用電話66－5282（代）

毎月1回1日発行　1部30円

PEPSI

ペプシ杯争奪県少年団大会迫る！

第11回静岡県サッカー少年団大会

優勝なるか清水勢

決勝戦は2月12日清水市で！

本年度よりSBSテレビで放送

第十一回ペプシ杯静岡県サッカースポーツ少年団大会は二月四日、十一日、十二日の三日間、静岡市を中心に行われる。

今大会よりSBSのテレビ放映があり、熱戦を県下くまなくブラウン管にのるが、今から楽しみである。

さて今大会の焦点は三十二チーム参加の少年の部にどのチームが進出するかである。今まで最も優勝回数の多い藤枝が今年は統率力がなく、ベスト4もあやぶまれているが、この大会にはツキもあり期待したい。

常勝清水勢は五チームの参加、なかでも実力NO・1の有一だが県大会に弱いジンクスがあり何とか初参加で優勝までつっ走りたいところ。

辻は調子にのれば強い。初参加の興津はバランスのとれたチーム。

江尻はエース原田、杉山、川口と波にのればいけそう。五位代表の有二はこれまたくせもの。県大会優勝経験があるだけに期待できそう。

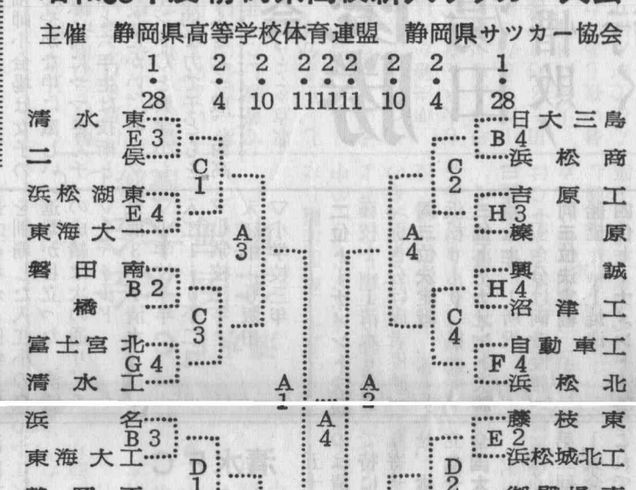
東部長泉も久しぶりに強いチームに育った。県大会でベスト4に東部チームは今回までにないが、何とかくいこんでみたい。

浜松勢も今年にかけている。地元静岡も分兄の協力と地元の利を得て、何とか大会をもりあげる意味からもがんばりたいところ。

中学生は清水七中一中、藤枝中のたたいになりそう。三年生も参加しているチームが多くなり、社会体育としての位置もしっかりしてきた大会として注目を集めており、来年は中学生の部もテレビに放映される計画である。決勝は二月十一日一時、清水市営グラウンドより実況放送される。

昭和53年度 静岡県高校新人サッカー大会

主催　静岡県高等学校体育連盟　静岡県サッカー協会



【会場】　A＝浜松北　B＝浜松西
C＝清水東　D＝藤枝東　E＝浜松城北工
F＝清水商　G＝静岡工　H＝静岡

【試合時間】
第1試合10：00～11：15　第2試合11：30～12：45
第3試合13：00～14：15　第4試合14：30～15：45

少年サッカーとチームプレー

なんにもとらないほうがよっぽどいい

高校選手権も古河一の優勝でスピードとスピリットの表現があらためて見なおされたが大会一回戦、水島工に勝った静学の井田氏が強烈にレフリーの批判をしたことは静学を不利にしてしまった。

古河一と静学の好試合も全く審判の判断が悪く選手に気の毒に思った。

私がいま声を大きくして「今年の選手権のレフリーは最低である」といっても、私自身にいろいろな反応がくることは覚悟の上で書いている。

もちろん古河一と静学は十四人と十一人がたたかっていると素人の人も分かるほど、ビデオで何回見ても明らかに静学不利に判定してくれた。くどいようだが、私は全ての試合大会が終ってからこのことを書いているのであって、大会中、特にまだ勝ち残っている間にレフリーを敵にまわした井田監督は大失敗であった。

たしかに審判法よりも多分に感情が入っていたことは明らかであるし、この結果は子どもにとって悲しいことであった。しかしこの現実を作ってしまったのは指導者の責任のほかにない。レフリーとは試合の演出者であって裁判官ではない。本来サッカーの中には審判員はいなくてもできたゼントルマンだけのやれたスポーツでありその後一般労働者が楽しむようになってからステッキにえんび服を着た判定員が中央にどっかと座って全てプレーヤーが紳士的に判断しながらゲームを進めていったスポーツで、そのために最も主体的スポーツとされていたし、レフリーの服装もえりとすそに白いふちのあるのはえんび服の名残りであるといわれている。

そしてサッカーの基本は流れるようなプレーにあるはずである。ブラジルではあまり笛でとぎれると両軍がパスし合ってレフリーにボールをぶつけっこする時間をつくるプロの試合もあるそうだ。またブラジルのアストフィー審判判定委員によると一試合六十五万円の収入があるとも話していた。

地位が先なのかレフリー技術が先なのかは別にして、レフリーが居ない方がよっぽど良い試合が時々見られる一試合何にもとってくれないほうがすばらしいゲームになった場にも何度か出くわした。

選手権と同時に全国ミニサッカー大会で少年決勝大会で10分ハーフで5分で終了にされても小花監督は「レフリーが10分といえば10分だ」と子どもの前でいわねばならない苦しさ――もちろん子どもにはレフリーは絶対を指導し徹底させることが何より大切である。

それだけに無言でしかも無抵抗なプレーヤーのためにもレフリー諸君はサッカーをプレーして、レフリーのどこに必要かを知ってほしいものである。

少年の中から「ぼく将来レフリーになりたい」といえる子が早く出てほしい。何よりもサッカープレーヤーのあこがれのレフリーの生まれることを望む。（哲）

PEPSI

第2回 ラジコン杯争奪県女子選手権大会

清水勢が引分け優勝

【準決勝】
高部ママイレブン 1（0－0 1－1）1 清水小マドモアゼル
PK3－1

エレガントなサッカーを目標に「品良く、強く、美しく」の合言葉のもとに決勝戦に進出した清水市のファーストレディーと高部ママイレブンが、互いにゆずらぬ熱戦で0－0の引き分け、規定により両者優勝となった。

正月早々の試合のため動きそのものは全般的にゆったりとした感じに見えたが、コートの広いこと、25分ハーフという長い時間ということが原因したと思う。しかし局所では激しいプレーが見られ見ごたえがあった。

後半になって一進一退するうち高部がチャンスをつかみ、かさにかかって攻めたが大きくクリヤーした球がハーフにつながり中央をドリブル。ゴールへキーパーとバックが防ぎに走りペナルティーエリア内で押してしまうPKとなる。きれいにネットをゆする。すぐ高部にチャンスがやってくる。かさにかかって攻めるがなかなか得点できない。清水の小さくクリヤーした球を高部の相馬さんがファットシュート、きれいに決まる。その後は一進一退するが得点できずPK合戦となる。

清水きれいに1点入れるが高部はずして1対0、続いて高部2本連続で入れ1対2と逆転。高部1点入れると勝ちとなる。ゆっくりと走り出したキッカーの顔に真剣さのゆがみが出る。ボールはネットをゆする。顔は満面笑みに変わる。

ファーストレディ 3（2－0 1－0）0 浜松ヤングレディー

浜松キックオフと同時に攻めるが決定的な型がとれない。暮れ正月の練習不足からボールキープできないファーストレディ。中盤の足立さんにボールが集まらないし正月だるみの足立さんもボール処理が思うにまかせないオフサイド気味の吉川さんにボールが出てそのままシュートしゴールイン。ファーストレディが押し気味に試合するが決定力を欠く。やっと2点目が入り前半終る。

後半はファーストレディ押し気味であるが追加点があげられない終了近くにゴールインかどうか確かめなければならないような得点をあげる。

〈決勝〉高部ママイレブン 0（0－0 0－0）0 ファーストレディ

清水同士の決勝となる。暮れ正月と練習してきた高部と、チームとして練習できなかったテクニックのファーストレディの対決。一〇〇分ゲームをして疲れたという感じのした試合。女性の戦いのきびしさを見たようなゲーム。二、三日は仕事が手につかないだろうと思います。

静岡県サッカー少年団育成協議会

五十四年表彰者四氏を発表！

静岡県サッカー協会少年育成協議会は五十四年表彰者を選考の結果、中学生育成に三名少年団一名の計四名の表彰が決まった。

少年団では静岡県少年団事務局であり、東海協会少年実施委員の小島綱雄氏。同氏は五十三年全日本少年サッカー大会に全清水FCを優勝させるなど県内少年サッカー育成と組織づくりに力を入れた。

中学指導者の中では静岡中学校代表の渡辺氏、東部の平山氏、西部の八神氏の三氏。

三氏とも静岡大学の出身。八神氏は秋田国体優勝メンバーであり現静岡OBチームの正選手で、特に中学サッカー育成に力を入れた。

平山氏は低いレベルの東部のサッカーに力を入れ、人間性豊かな指導と組織づくりは東部支部にはなくてはならぬ人になった。

静岡市の渡辺氏は八木支部長を助け常に静岡市と県中学生サッカーの育成に力を入れ、現在のサッカー王国を作った源の人物。

四名ともに県サッカー協会の理事を経験したことがあり、これからも期待される指導者である。

ブラジルへの道 ⑧

ペレのいたサントスと対戦

ブラジルに行ってから決まった大試合の中に、ペレのいたサントスを選んで対戦することになった。

サンパウロからサントスまではバスで三時間、美しい白砂は何キロも続き浜では真冬というのにパンツ一枚でサッカーを楽しむ人がいる。リオのコパカラパと同様、サントスもサウンドサッカーの最もさかんな町であり、ここからペレも生まれたのである。スタジアムは三万五千入る小さなスタジアムである。

相手チームはサントスのデントン十六才以下のチームである。昨日のパルメラスの試合の結果を知っているためかチームメンバーは十五センチぐらい大きくなからだつき、しかも速い攻めと守りである。この試合、佐野の強引なプレーに相手バックがさそわれ足をひっかけPK。同じく滝がキーパーと1対1になったところを相手になぎ倒される型でこれまたPK。シュート数は七本と五本の互角以上の試合の中からとらえた二本のPKで決まった試合であった。

応接室にはペレが清水に来たときのレプリカとペナントが飾ってあった。日本にとってはサントスはなじみ深く、親しみ深かった。

帰りにペレの事務所によりペレの弟から全員に記念のメダルが贈られた。ペレはニューヨークのペプシ主催の少年スクールに出席し、清水の子どもの来るのを残念がっていた。ペレも清水の子どもが世界で一番うまいのではないかと弟にいっていたと聞き、みんな喜んだ。

ペレの家にも行ったが静さなたたずまいの中で、ジャングルジムがサッカーボールの型をしていたのが印象的だった。

▶写真はペレの弟と共に

帰りのバスの中で黒ぬりのシボレーに止められた。日本を代表して来た総理府の熊本県選出国会議員の藤田氏だった。日本の子どもがブラジルのサッカーに勝ったことをテレビで見てびっくりした。

今日サントスに来ることを聞いて、来てみて間に合ってよかった、と子どもたちを激励してくれた。わずかしか入っていないさいふから二〇〇ドルを「ガラナでも飲ませてほしい」と私に贈ってくれた。

すばらしい外車に日の丸の小旗をつけ、走りながらいつまでもうしろの窓から藤田議員が手をふったのが目にしみついた。

自動車についている日の丸がこんなにも大きく見えたのは私だけではなかったであろうブラジルに日本人あり――を示した一日だった。

静岡県体育協会 創立五十周年記念 静岡県体育史完成！

静岡県体育協会創立五十周年を記念してつくられた体育史は各種別、各市体育協会の歴史から国際大会、国体の優勝記録、全てが書かれており、サッカーの部では三十ページにわたり記録されている初代会長より現在の活動まで人物を中心に書かれている。五十年の歳月と努力はすばらしい一冊の本を生んだ。

サッカー協会では各支部長、種別委員長と歴代の理事長、会長より意見を問い、植田永二編集委員が代表してまとめたもの。種目別を見てもサッカー界は詳しく、しかも強さが強調されていると同時に、幅の広さがうかがわれる。チャイルドサッカー、女子サッカーOB、社会人、高校、少年と各年令層の国民スポーツ的テーマで見ごたえがある。

体協限定版七〇〇〇円は清水市能島一九七―一　望月保次あて。年間購読料・送料共に二〇〇〇円。

◎少年のための指導書できる

日本サッカー協会技術委員会少年育成部では一流選手が少年の指導をする場合の手引書を作製、関係者に発送した。特に幼児のためのボールあそびと、基本的に何を教え何を学ばせるかが詳しく書かれているもの。必要な人は少年育成部まで申し出てほしい。

◎サッカー機関誌新発刊

日本サッカー協会は五十四年度より機関誌〝サッカー〟を新発刊年間購読料を登録と同時に三〇〇〇円納入し全関係者に配布することになった。

✣日本サッカー協会ニュース✣

◎SCA講読者募集

日本サッカー協会技術委員会の機関誌〝サッカーコーチャーズアソシエイション〟は年間四回各年令層の技術指導、代表チームの活躍等内容豊富に入れたもので、既に五号まで発刊されているが、年間の講読者を募集している。希望者まで日本サッカー協会より直接発送されるが、申込者は一望月保次あて。年間購読料・送料共に二〇〇〇円。

◎少年のための指導書できる

日本サッカー協会技術委員会少年育成部では一流選手が少年の指導をする場合の手引書を作製、関係者に発送した。特に幼児のためのボールあそびと、基本的に何を教え何を学

編集ノート

十二月二十八日清水招待少年大会閉会式、一月五日、読売フラミンゴ杯県女子大会、一月七日から開始の清水JC杯少年大会、暮れも正月もない例年通りのあわただしさで年の瀬と正月を送った。二月号の編集が片付けば一月二十八日から県高校新人戦が二月十一日まで、連休の十一、十二日は県サッカー少年団大会である◆三月には、清水に行けばその年の高校サッカー一流校の力が打診できると評価の高い、全国招待の親善大会が控えている。サッカー大会運営の手際の良さを自他共に誇れる清水サッカー関係者の努力は高く評価されている◆年賀はがきが今日も配達されてきた。元日配達分は投函日迄指定されて出したのにと腹を立てた人は数限りなくいる。グラマン、スキャンダルに又かとうんざりしている人も数限りなくいる。醜い記事を掲載しなくてもよいサッカー紙の編集は幸せである。（二本木）

第11回清水JC杯少年サッカー大会

チビッ子五〇〇〇人のお祭りサッカー閉幕！

一月十四日(日)、十五日(祭)は清水市内チビッコサッカーでうまった二十二会場で五〇〇〇人参加のJC大会はまさに清水市の祭典といってもいいすぎでないほど、町中ジャージーとユニホームでうまった。

◀写真は閉会式より

野球少年も、陸上の高校生もこの大会に参加して汗を出し、親子でたたかう場面もあり楽しい二日間だった。

会場をぐるっとJC会員とまわり大会の様子をさぐった。

九時、興津小、JC会員の始球式のあと不二見学級代表スピードシンボリーズと中河内の対戦、5対1と引きはなされた不二見だったが、最後までがんばる水連指導の中心、池田さんの長男もバックでハッスルしたが力およばなかった。しかし終了後すがすがしい姿で会場を後にした。

九時三〇分、袖師中では一中と両中の一年生、一中の井上のプレーが目立った。

九時五〇分、庵原小は中河内、蒲原。五年はPK戦、おしくも五人目で蒲原東の勝。石川先生もよくやったと敗れて悔いない顔。2対2の内容だったが中河内は押し気味だっただけに残念。

十時三〇分、二年の飯田小会場へ。清水、入江、有一が大差の試合ぶり。

入江ではそれ以下一年生の大会。この会場は全試合接戦。小島と入江は2対2で大接戦会場の父兄はグランドの中に入って大声で声援。

十二時、江尻小会場へ。三年生になるとレベルもぐんとあがってパスとドリブルのミックスプレーが目立つ。清水マコト虫イレブンと飯田ファイターズBの熱戦。

十二時三〇分、辻小会場へ。県大会出場の辻は不二見にPK敗。有二チームがはっらつとして光った。

一中会場では中一の準決小島と一中。押し気味の一中は点がとれずPK戦。五人目で5対5、六人目一中はずし小島入れて初の決勝進出。

浜田十三時、有二シューターズと地元浜田二年生とはとても思えないほどの個人技をもつ浜田の栗田のハットトリック。バックの服部ロングシュートの畑と5対0の大差で浜田この会場有一のスピードあるプレーが目立った。

袖師小会場は女子のなごやかな中に激しい闘志、特にママさんチームと六年生は技術と力のたたかい。有一クインFCと興津小も圧倒的な力で子どもをねじふせた一戦。西高陸上部と両中女子が強そうだった。

駒越会場は一年生大会。全試合を大井生のレフリーで大変だった。清水会場は最も手なれた運営であった。

入江小の快進撃！ 小学校四部門を制覇

中学一年は二中が優勝 二・三年は一中が

二百五十チームが加して熱戦を展開していた第十一回清水市JC杯サッカー大会は十一日、最終日を迎え清水市営グラウンドで十一部門の決勝を行った。

例年、実力伯仲で優勝校が分散する同大会だが、今回は小学校の部で一年から四年までを制覇した入江小の進撃が目立った。決勝の成績は次の通り。

▽チャイルド
東海3—1清水
▽小学校一年
入江1—0不二見
▽小学校二年
入江1—0飯田
▽小学校三年
入江4—3飯田
▽小学校四年
入江1—0有度一
▽小学校五年
庵原8—0袖師
▽小学校六年
有度二1—1江尻
（両者優勝）
▽中学一年
清水二1—0小島
▽中学二、三年
清水一1—0清水八
▽女子ジュニア
西河内1—0興津
▽女子
西河内中A3—0
飯田ママ
ファイターズA

静岡県サッカー協会 審判研修会報告

静岡県審判委員会は昨年十二月十五日(土)草薙で行われた静岡選抜ユースチーム対ブラジル・サンパウロ選抜サッカーチームの試合に先立ち、前日の十二月十四日(金)、同チームの監督でありサンパウロ州サッカー審判連盟会長であるジョゼ・アストルフィ氏を講師に招き、同チームの総務・中山義昭氏の通訳で審判研修会を開いた。

ジョゼ・アストルフィ氏は日本の審判について次のように感想をもたらした。

一、日本の審判はプレーヤーの経験が少いためにサッカーの心がわからず、ルールの後ばかり追いかけている。

二、ゲームに反則の笛を吹き過ぎるためにゲームの流れを止めてしまうばかりか、選手が神経質になり過ぎて勇敢なプレーをする勇気を失わせてしまう。

三、日本の主審と副審とのチームワークが悪く、意志の疎通を欠くことが多く、副審は試合を見てしまい、オフサイドに遅れることがある。

四、主審は対角線審判法が守れず、直線に走るタイプが多く、線審の旗を見て走りながらゲームの展開が見れない位置が多い。主審はボールの後から走れ。

五、副審は最終ラインの選手と平行移動をして正面を見ながら走れ皆が見ていてわかりきっているアウトボールは旗を向けるな。主審を助けるのが副審であり、審判は観衆のためにおるのではなく、選手のためにある。また良い審判には次のような条件をあげている。

〔良い審判の条件〕

(1)笛の数が少ない。(笛の数の多いのは選手に悪影響を与え、プレーを消極的にしてしまう)

(2)主審はゲームに距離を置ける人。

(3)ゼェスチャーは少い人。

(4)主審は冷静でハッタリがない人。

(5)審判が大きい声を出すと選手はそれ以上の大きい声を出すので、審判は平穏でおとなしいトランキライザー型

(6)よい審判とは、試合が終ったあと、誰が審判であったかわからないような人。

(7)ゲームを掌握できる人。

(8)ボールについてけない体力では反応ができないし、本当の笛が吹けない。体力をベストに保て、ゲームをするためによい準備のできる人。

(9)観客の眼の前で時計を見るのは素人。よい審判はそれを悟られないように時間の見れる人。

等とかく審判についてはさまざまな見解が示され、これまでの日本の審判像に厳しい批判の目が投げかけられいろいろと今後の審判については考えさせられることが多かった。

〈勝沢　要〉

第六回清水招待少年大会

町田SSS初優勝

準優勝は山梨湯田 清水・藤枝 準決で惜敗！

優勝カップ県外に行く

第六回大会ではじめて清水以外のチームが優勝した。初戦から波乱の多い大会だった。藤枝に敗れた清水FCが同率点差でどうやら一位トーナメントに進出したものの準決勝で町田3SSSに2対0で敗れ、西日本を1対0で破った山梨湯田と決勝になった。スピードと個人技のある町田が一方的に攻め2対0で町田が初優勝した。

この大会、静岡チームは地元大会があるため最強チームが参加せず、メンバーも毎日ちがった顔ぶれで参加、来年は招待されないことになった。どの地区も強くなり、この大会を目ざした合宿等を行い意気さかん。

西日本選抜もチームとしてはまとまりを欠くが個人技の高さで一戦一戦強くなってきた結果は次のとおり。

一位トーナメント決勝
町田2—0湯田
同三位決定戦
清水六年A5—1西日本
二位トーナメント決勝
藤枝1—1清水6年（引き分け両者優勝）
同三位決定戦
浜松6—0橘
三位トーナメント決勝
富士1—1所沢（引き分け両者優勝）
同三位決定戦
船橋4—1焼津
四位トーナメント決勝
全宮城0—0木崎（引き分け両者優勝）
同三位決定戦
清水五年1—0清水四
五位トーナメント決勝
西淡津井6—1神戸
同三位決定戦
ゴールプランターズ4—1紫
六位トーナメント決勝
刈谷6—0広島
同三位決定戦
静岡2—0上野

この結果、優勝町田、二位湯田、三位清水六年A、四位西日本とまった。

清水FC 全国大会 東海大会に優勝して

五十三年度活躍したのは清水FC。その中で特に活躍した三君より寄せられた作文をのせ、次年度の育成に役立たせたいものである。

全国大会に優勝して　佐々木健三

ぼくたち清水FCは第二回全国少年サッカー大会でみごと優勝しこれで四年連続の王座を獲得しました。今までのことをふり返ってみると、とても苦しかったことや、うれしかったことことがたくさんありました。

まず県予選を勝ち抜くことで、雨の中で全静岡との準決勝、晴天に恵まれて広い県営グランドで全浜松との決勝は、3対0で勝った

いよいよ全国大会、第一試合は雨降りの中で苦戦した。韮崎に先取点をとられ、1点返し、引き分け。

この試合が、あとにえいきょうして、一つ一つ勝っていった。

準決勝からはコートも大きくなり、チームのみんなが自分のプレーができた。決勝に町田と3対0で優勝！

大会六日間、宿舎の暑い夜もあったが、みんなでがんばり小学校生活最大の良い思い出が残った。優秀選手にも選ばれ、全国大会が終った。全国大会に優勝したい！という目標があって、三十余人の選手と、先生がた、父兄がほんとうにいっしょうけんめいやった。

全国大会に優勝して　達川敏文

ぼくは、この大会での優勝で、サッカーをやっていて、とてもよかったと、これほど思ったのは、初めてです。

〝日本一のチーム〟—日本一などという、実感がわいてくるのは、少し時間がかかりました。おしくも、最優秀選手になれなかったのが、ざんねんだった。でも、日本一で、まんぞくです。

とても長い大会でした。くるしくもあり、楽しくもあり、いろいろなことが、あの暑い中に、いろいろな形でくり広げられていきました。同点の試合、プレゼントのこうかん会など、ぼくの思い出のアルバムの中に入っていきます。

いままでは、日本一のチームを、目ざしていましたが、こんどからは、その日本一のチームを、まもりぬかなければ、なりません。これからも、いっそう練習にはげみ、おわれる立場として、がんばりたいと、思います。

全国大会　川口慎也

県の大会を勝ち抜き全国大会の出場権をうばいました。それから大会まで苦しい練習をしました。七月三十一日に読売ランドに行きました。

それから開会式をやって、次の日から試合があります。第一戦は韮崎とやり、1対1と苦戦しました。堀田先生は、その試合を見て「清水は優勝だ。」といったのが不思議に思いました。あとでそのことを聞いてみたら、その試合、雨だったけどうまぶらなかったからだ、ということです。

そのブロックリーグを一位ででて、今度は勝ち抜き戦です。

日立を2対1と危なく勝ちました。次の試合は広島です。前に一度やった時は2対1だったので、広島に勝てるか心配でした。でも4対1と快勝しましただんだんなみにのってきました。

決勝でも調子がでて3対0と快勝しました優勝したしゅん間すごくうれしかったです。

ほんとうに優勝できてうれしかったです。

静岡県サッカー協会 五十四年度の事業計画決まる

昭和五十四年度静岡県サッカー協会の中心事業の日程と会場が決まった。本年度の中心事業は夏の国際大会、フラミンゴ、スポーツ祭の中一、高二の大会、国体教員の強化にしぼられた。大会は次のとおり

54年度重点事業

○ワールドユース大会開催
○全日本少年サッカー大会3連勝
○国体天皇杯奪還
○地域協会組織強化
○社会人組織の強化
○総理大臣杯大学サッカー大会開催
○高校韓国遠征強化
○高校選抜大会の開催
○中学層の強化
○トレーニングセンターの充実
○コーチングスタッフの育成
○OB組織の充実
○女子サッカー連盟への協力
○ミニサッカー連盟主催行事の充実
○各種大会の開催
○東海サッカー協会組織の充実
○少年サッカー指導書の作成
○全国少年団育成組織の充実

昭和54年度静岡県サッカー少年団育成会事業計画（案）

4月5日(木)または10日(火)	育成会常任理事会
4月21日(土)	育成会総会，登録終了，県大会他抽選
5月3日(木)	全国少年サッカー大会地区予選終了（各支部）
5月6日(日)13日(日)20日(日)	スポーツ祭親子大会（清水，静岡）
5月26日(土)27日(日)	全国少年サッカー大会県予選（清水）
7月25日(水)～28日(金)	中学生全国大会兼中体連サッカー大会
7月30日(月)～8月4日(土)	全国少年サッカー大会（読売ランド）
8月25日(土)	さわやか杯争奪第4回静岡県大会（草薙）
8月16日(日)～21日(土)	中学生全国大会（埼玉）
10月3日(土)祭日	県育成会理事会（東海四県，県大会原案，）
11月3日(土)祭日	東海四県大会県予選　10：30（草薙）
12月1日(土)2日(日)	東海四県少年サッカー大会（刈谷）NHK
12月25日(火)	県大会地区予選各支部終了
1月9日(水)	県大会打ち合わせ役員会（焼津）
1月24日(木)	県大会出場チーム代表者会議（焼津）
1月15日(祭)20日(日)27日(日)	県中学選抜大会
2月3日　10日　11日(祭)	県少年サッカー大会（11回）焼津
2月　末	招待選手少年サッカー教室
3月10日(日)	少年指導者技術講習会（焼津）
3月3日(土)4日(日)	つま恋招待サッカー大会（第6回）5年生
3月21日～30日	中学フェスティバル
3月26日～30日	全国中学生選抜サッカー大会（東京）
※12月25日～28日	清水招待サッカー大会（市営他）

昭和54年度静岡県サッカー協会事業計画

行事名	県大会期日	会場
サッカーフェスティバル	4月8日	清水
県スポーツ祭	5月5．6．13．20日	静岡
全日本少年サッカー大会	5月26．27日	清水
県社会人リーグ	3月11日～10月7日	県下各地
全国高校総体	6月2．3．9．10日	草薙
全国中学生大会	7月26．27．28日	(決)草薙
全国自治体大会	5月27日	静岡
第34回国民体育大会	7月29日	草薙
総理大臣杯大学選手権		藤枝・焼津
さわやか杯少年サッカー大会	8月25．26日	草薙
SBS杯国際招待ユース大会（案）	8月16日～19日	〃
日朝親善サッカー試合国体強化	8月5日	〃
県OB選手権大会決勝大会	9月15日	〃
全国ユース選抜大会	6月17日強化練習	清水
天皇杯　6月10．17．24日	月1．8．15．22日	静岡
全国高校選手権	11月18．23日　予25日	草薙
東海小学生選手権大会	11月3日	〃
県リーグ入替戦対抗リーグ	11月～12月16日入替戦	藤枝
中学生リーダー研修会	8月	草薙
コーチングトレーニングセンター	年間5会場	各地
審判研修会	11月3日	草薙
フラミンゴ杯婦人サッカー	1月4．5日	〃
静岡招待サッカー	2月24日	〃
県スポーツ少年団大会	2月3．10．11日	焼津
県都市対抗	2月10．11．17日	沼津
全国中学生選抜大会	1月20日27日	静岡
日韓親善高校サッカー遠征	3月21～26日	大仁
高校親善サッカー大会	3月25～31日	各地
全国高専大会		
全国自衛隊大会	3月	
ミニサッカー大会（少年）	10月10日	田中屋
つま恋少年5年大会	3月	つま恋
高校新人戦	2月11日	沼津
少年サッカー教室	2月23日	各地
中学親善サッカー大会	3月25～4月2日	各地

少年サッカー指導教程㉜

指導・堀田哲爾（静岡県サッカー協会理事長）
え・北本善一

まんがで学ぶ サッカーあそび

❖からだづくりをしよう❖

やわらかなからだをつくろう

ボールを自由にあやつれるようになりましたか。

からだをやわらかくして、リズムにのってうごきまわれることは、サッカーでもたいせつなこと。今週は、その練習の方法です。

リズムにつよくなろう

まず、まりつきのように、手のひらでサッカーボールをつきます。そのとき、①ジャンプしながら ②スキップしながら ③ついたボールをまたぐ ④つきながら一回転する などをやってみましょう。

つぎに、足のうらをつかって、ボールをつきましょう。

かたほうの足だけつかったり、りょうほうの足をこうたいでつかったりしてみます。

手でつくときも、足のうらでつくときも、音楽にあわせてつくとうまくいくよ。

足をなげだしてすわり、ボールをたかくもって、からだをおおきくまわしましょう。

右まわり、左まわりと、かわるがわるまわします。

ふたりで組になり、せなかあわせにたちます。

からだを左右にひねりながら、ボールをうけわたしします。

（少年少女新聞より転載）

第7回 静岡招待サッカー

藤枝市で開催

少年サッカー教室は25ケ所で

第七回静岡招待サッカー大会は今年は三冠王の三菱重工を招いて開催されるが二月十八日と決定した。前日招待選手による少年サッカースクールは二十五ケ所を予定されている。対称人数予定申込みは。テーマと会場。雨天の場合の体育館及び宿舎までの車以上を有二小小島先生まで。

PEPSI